

～ いつまでも 元気で暮らそう 加東市で ～

ほっと 

発行者：第1層生活支援コーディネーター

事務局：加東市健康福祉部高齢介護課

(地域包括支援センター)

TEL：0795-43-0431

FAX：0795-42-1735

地域課題
って？



ありたい姿

—

現状

=

地域課題

「こんな地域になったらいいな～」「こんなことしたいな～」「あんながあればな～」
でも現状って・・・

まさにそのギャップが「問題点（何が困っているか）」で、その障害となっているものが「地域課題」といわれています。

いつまでも、ここ加東市で元気に暮らし続けるために、ともに夢を語り、それに近づくようにみなさんでいっしょに地域のことを考えませんか？



わたしたち、生活支援コーディネーターが
お手伝いします！！



滝野地域連絡会「ささえあい滝野」

滝野地域では、区長さん、民生委員さん、シニアクラブ、介護施設、各種団体などが定期的集まり、滝野地域での支え合いのしくみをつくるための住民主体の話し合いの場が設けられています。移動や買い物などに関する困りごとについても、皆さんが意見を出し合いながら、暮らしやすい地域をつくるために取り組まれています。

会議の様子



ホットな場所！！

◎ 社地域 沢部地区「いこいの場」

地域のお宝、発見！



沢部地区では、毎月第3火曜日に「いこいの場」が開催され、お茶を飲みながらお話をしたり、脳トレやゲーム、体操などをされています。参加者の皆さんからは「毎月1回がとても楽しみ」「若いころに戻ったみたいに見える」「みんなに会えることが嬉しい」という声があり、「いこいの場」が皆さんの元気の源になっているようでした。「いこいの場」は民生児童委員の方が立ち上げられ、今年で6年目となりました。これからも笑顔の溢れる、地域の方々のつながる居場所として永く続いてほしいですね。



ホットな取組！！



いっしょに乗っていかへん？

東条地域 森尾地区 まちかど体操教室からの買い物ツアー

森尾地区では、毎週、まちかど体操が終わった後、参加者たちが、車に乗り合わせてマックスバリュまでいっしょに買い物に行かれています。

以前、社協だより（令和3年3月号）で、加東市社会福祉協議会の第2層生活支援コーディネーターがその取組を取材し、紹介していました。

買い物ツアーが始まったきっかけは、近くにあったマックスバリュが他地区へ移転し、歩いて買い物に行っていた方が、行くのが難しくなってしまったこと。

「もっと気軽に買い物に行けたら」という参加者の声から、体操後の買い物ツアーが始まったのでした。

あれから3年・・・

その取組は、なんと、今でも続いています！！

参加人数は少し減りましたが、今もその姿は変わらず、「喜んでもらえたら…」という思いで続けておられます。体操教室の会場までの移動に困る方には、「体を動かさなあかんで」と、メンバーが集会所までの送迎も手伝っておられます。

体操後は、乗り合わせてマックスバリュへ。

「何買うんやったかいな？」「そろそろ盆やなあ」

「ええもん、買えたか？」と言いながら、

買い物されている様子が印象的でした。

運転免許証を返納したなど、移動に困っている方は多いと思います。このように、ご近所同士の自然な助け合いと見守りができていることが、まさに支えあいのまち！！とってもすてきですね♪



いってきま〜す



食パン
どこやる？

